



Hirado City Photo News

2/5 春の風物詩『川内峠の野焼き』



川内峠で、毎年恒例の野焼きが行われ、約30ヘクタールの草原が炎に包まれました。この日は、消防職員や消防団、地元住民ら約150人が参加し、川内峠南側から順次ガスバーナーで火を着けました。

今年は、3年ぶりに見学者の入場を受け入れ、多くの人たちが炎の燃え広がる様子をカメラに収めています。

この野焼きは、防火と家畜用の牧草の育成、草原の保全を目的として行われており、市内では他に「佐志岳」や「上段の野」でも実施されました。

Hirado City Photo News

2/12 潮風の中を疾走



生月支所前をスタート・ゴールとし、島の東側の海岸線に沿うコースで行われる「いきつきロード2023」大会が開催されました。

3年ぶりの開催となった今回は、全22種目に、市内外から約600人が出場し、日ごろ鍛えた健脚を競いました。

沿道には応援のために多くの人が駆け付け温かい声援を送っていました。招待選手として県内の実業団で活躍する選手も参加し、参加者らと一緒に走る姿が見られました。

Hirado City Photo News

2/10 女子大生が描く平戸の未来



平戸市未来創造館で、筑紫女学園大学現代社会学部の学生による「平戸魅力発見プロジェクト」の成果報告会が行われました。

一木順教授と野中亮教授の研究室に所属する学生が、1年間、平戸の観光活性化について研究しているので、女子大生の視点から、商店街などでの実地調査をもとに、SNSで若者向けPRを行った報告と提言がありました。学生からは、「この企画で初めて平戸を知った。今後もPRに関わっていきたい」などの感想が述べられました。

Hirado City Photo News

1/27 カルタで薬物乱用防止の啓発を



平戸市民病院の押淵徹名誉院長と近藤司薬剤師が市長室を訪れ、「ひらど薬物乱用防止カルタ」の完成を報告しました。このカルタは、市内小中学校を対象に行っている薬物乱用防止教室において、小中学生が作った「標語」をもとに「絵札」と組み合わせ、平戸市民病院が制作したものです。

今後、市内の薬物乱用防止教室で、小中学生への啓発活動に使用されます。近藤氏は、「生徒のみならず、大人の皆さんにもご活用いただきたい」と期待を述べました。

Hirado City Photo News

1/25 火の手から文化財を守るために



昭和24年1月26日、奈良県の法隆寺金堂が炎上し壁画を焼損したことに基づき制定された「文化財防火デー」に合わせ、平戸オランダ商館をはじめとした市内13カ所の文化財所在地において、文化財防火運動が行われました。

志自岐家武家屋敷と鯨組主益富家では、3年ぶりの総合防災訓練として、水消火器での初期消火訓練のほか、消防車による放水訓練も実施されました。

また火災防止のための点検・指導が消防職員により行われました。

Hirado City Photo News

2/5 地域に根ざす公民館を目指して



平戸市ふれあいセンターで、令和4年度第17回平戸市公民館大会が開催されました。今回は、「活力ある地域を創造する公民館活動～公民館活動を通じて考える地域との結びつき～」をテーマに、功労者に対する表彰や事例発表として中部地区子育て支援団体連絡協議会と中部地区で活動する地域おこし協力隊の齊藤三花隊員が発表しました。また、諫早市飯盛町地域共生助け合い隊の藤本八重子会長が、活力ある地域を育てるボランティア活動について講演しました。

Hirado City Photo News

2/2 市民サービス向上のために



平戸市役所で住友生命保険相互会社との包括連携協定締結式が行われました。この協定は、住友生命保険相互会社が持つネットワークや情報発信力を活かし、さらなる市民サービスの向上を目的としています。

同社が長崎県内の自治体と包括連携協定を結ぶのは初。平戸市でのがん検診・特定検診の受診率向上に向けた啓発資料の作成・配布や、小学生の放課後の居場所づくりなど、7分野11項目で連携協力することとなっています。